

令和3年度 教育デザインフォーラム プログラム

1. 日時 2021年9月30日(木) 13:00～14:30
2. 場所 オンライン (Zoom)
3. 時程 発表A 13:00～13:30、休憩 13:30～13:40、発表B 13:40～14:10
4. 発表時間 発表 20分、質疑応答 10分の計 30分
5. 発表者と題目

※ルーム 1,6,7,9,13 は発表A・Bの発表部分が同内容となります。

場所	領域	発表A 13:00～13:30	発表B 13:40～14:10
ルーム 1	教育学	佐野 真知子 ・公立高校におけるクリエイティブワークショップの実践	
ルーム 2	心理学	青島 拓紀 ・中学生の自律性支援の認知と学習動機づけとの関連	五十嵐 未来 ・中学生における夜更かしの要因と指導方法に関する質的研究
ルーム 3	日本語教育	彭 璽閣 ・中国人学習者の日本語アスペクトに関する 習得プロセスと要因の一考察 —「結果の存続」を表す「テイル」「テアル」を中心に—	鈴木 麻由 ・接触場面における共話方略使用の有効性—日本語でのオンライン交流会話の分析から—
ルーム 4	国語	原 敏 ・ロールプレイングを活用した文学教育の実践—魯迅『故郷』における登場人物同士の関係に着目して	討論
ルーム 5	英語	五十嵐 陽 ・seem 構文と証拠性 一日英比較の観点から—	瀧本 早百合 ・学習者・指導者のピリーフの比較から見た望ましい英文法指導
ルーム 6	社会	三原功士郎、内田成昭、鈴木晴子、陳 乙萱、陳 璿、長澤慎哉 ・教科内容研究としての教科書分析	
ルーム 7	数学	田中 匠 ・「気になる」児童の変容を促す算数科授業に関する事例研究 —多様な考えを伝え合う活動に焦点を当てて—	
ルーム 8	理科	佐野 綾音 理科における科学的思考の促進の意味 ー理科の学習過程における表象モード間の接続と変換の実態ー	岡本 海里 ・理科授業における実験計画立案時の思考の実態に関わる分析的検討
ルーム 9	技術	鳥海 壮矢 ・先進化する工具材に対応する被削性の在り方の検討と簡易試験を通してのその検証	
ルーム 10	音楽	大野 弥子 ・フィンランドの音楽科教員養成の特徴とその背景—オウル大学教育学部音楽教育コースのシラバス参照を中心に—	名田 昌美 ・初等音楽科における身体表現活動に関する一考察 —ドイツ・バイエルン州音楽教授プラン「Bewegung - Tanz - Szene」を手がかりに—
ルーム 11	美術	松尾 美佐希 ・大学付近の商店街での学生作品展示販売が学生や地域に与える影響	長谷川 聡 ・カリキュラム・マネジメントに生きる美術教育の力 -教科等横断的な視点に立った美術教育実践から見えてくること-
ルーム 12	保健体育	朱 健陽 ・暑熱環境下における間欠的運動及び定常運動時の予測深部体温の検証 —熱中症予防のため—	野下 卓泰 ・少年野球における選手の動機づけ～選手が認知する指導者との関係に着目して～
ルーム 13	特別支援教育	王 佳明 ・課後学習支援室におけるディスレクシア児への学習支援の進め方について —インターン活動を通じて学んだこと	
ルーム 14	臨床心理学	神取 幸実 ・大学生の目標と充実感に関する研究	鈴木 香瑠 ・COVID-19 蔓延下における大学生の行動と背景要因の検討